

～安心を未来へ～

2010年10月14日発行 10月号 No. 188

◇「第一回目の本部連絡委員会」

本部連絡委員長 鈴木 健之〔城東支部 鈴直商事株〕

今年度の総会にて委員会規定を変更、本部連絡委員会が新設されました。本部事業及び本部役員との連絡を密に調整することを目的とした委員会です。宜しくお願いします。

さて、9月15日、東京貨物健康保険組合会館5階大会議室にて、東ト協の推薦で東京商工会議所1号議員に立候補なさっている東ト協大高会長代行に、ロジ研正副本部長及び本部連絡委員との意見交換の場を作っていただきました。

はじめに、竹内本部長より本部長就任以降のロジ研の活動の説明。続いて参加委員の自己紹介、そして支部・東ト協・東商に対する意見交換。最後に、大高会長代行よりお話をいただきました。

都・国に対して要求をするには、会員の意見を集約し目標を絞り、機会あるごとに各地域で継続的に要求を主張することが大事。

今、業界を取り巻く重要な問題の一つは、改正運転免許制度への対応。19年6月に施行された運転免許制度に普通免許・中型免許・大型免許に係るトラックの車両重量・最大積載量の拡充など、適用条件の見直しが必要。

終了後、場所を移し懇親会場で、より掘り下げた話がされました。

◇「足立区民まつり」10月9日

総務委員長 松本 有司〔台東支部 金方堂運輸株〕

北千住の駅から荒川の河川に向かって歩き出す。だんだん道幅が狭くなり通り抜け禁止の看板を見ながらとうとう民家の庭先を通過。しかし正面からなにやら運動会のピストル音と女性司会の声が聞こえてきた。防波堤を昇ると広大な河川敷でタイヤを引きずりながら子供達が競争をしている。そしておびただしい数のテント。10年程前、広島の仲間と説得され東京ビックサイトで実施したトラック引きレースを思い出す。小学生は自家用車用、女性は2トン車用、男性は4トン車用のタイヤを引きずる。足立区民まつりのメインイベントだ。小雨混じりの中、例年の十分の一の人出にもかかわらずレースの参加者は例年通り。鈴木護朗支部長以下、本部福澤常務や何時もの三組織メンバーが大活躍する。神のご加護かレース終了と同時に本降り。足立支部の皆様、大変ご馳走になりました。そして大変お疲れ様でございました。帰路は何故か終電。そして何故か足立支部の黒いトレーナーを着ての帰宅となりました。



足立区民まつりのトラック協会足立支部主催によるタイヤ引きレース

◇「下請法で誰が守られるのだろうか」

最近、私の知り合いの事業者が長年続けてきた業務の発注を突然止められた。何の事前協議も無く、会社に出勤したらもう仕事は無いという。あまりの堂々とした、しかも一方的な荷主の態度にただ唖然とするだけ。

これは下請法に云う、「不当な給付内容の変更・やり直し」に該当するのではないかと、いろいろと書籍を机に広げて検討しております。ただ、荷主との契約書には「甲は止むを得ない事由により本契約の履行が困難と認めるときは、本契約の全部又は一部を解除することができる。」と、定められており、期日の指定や方法に関しては一切言及していなかった。

つまり、契約書通りの対応なのである。契約書に於ける「下請事業者の給付の内容」が余りにも、漠然と表記されているだけで、具体性を欠くため①どこから出荷する②どの様な内容物を③どの様に運搬するのかが不明で、業務として何を削られてもおかしくない内容となっている。

当初はまさかあの会社がとは思ったが、そのまさかが通らないような現実に直面してしまった。

ここで、下請法を改めて見直してみると、この事業者の不利益や損害を復旧できるような条項はなにも無い。あくまでも親事業者の名前の公表と、下請事業者に必要な事項を記載した発注書面(いわゆる3条書面)を交付しなかった場合に、50万円以下の罰金に処せられることになっています(10条)。

これって、法律って誰の味方？

名前の公表も厭わない会社にとっては、高々50万円の経費で、事業者の仕分けが出来ると云うこと？

法治国家における「成文法」とは、その記述の行間にある法の目的というのは、全く無視され、記述されていない禁止行為はこれを合法とみなし、その施行者を保護するものである。

なんとまあ、日本の道徳や、モラルはどこへ行った？

by ボルカ

◇お知らせ《○ロジ研行事予定》

○10/23(土)～25(月) 温故創新セミナー 旅順・瀋陽等

・10/26(火) 15:30～三組織連絡会 東ト総合会館 6F 小

・ 17:00～青年部セミナー " 4F

○11/10(水) 17:00～正副本部長会 "

18:00～第1回ロジ研セミナー "

テーマ「交通基本法と物流」

※近日ご案内いたします。



雨の中、足立支部ブースには大勢の列が・・・